

S.net グループ 受験情報通信

～ 第 3 回 ～ 2017 年度埼玉県公立入試 今年の入試総括（国語・数学・英語編）

◎2017 年埼玉県公立入試の総括を「教科別」に「特徴」・「難易度」・「注目点」に分けて説明します。

教科	今年の入試の特徴	難易度（昨年との比較）	その他、注目点
国語	出題形式は例年通り。記述の文字量は 1 問分減った。「すべて選ぶ」記号問題や会話文の空所補充など、大学入試改革を意識した内容に変化。	読解問題の設問が全体的に難化。言語事項や古文は例年通り解きやすい問題が並んだ。	書き抜きに近かった記述が難化。指定語句のある問題も出題され、書き抜きでは対応できないレベルになった。作文のテーマはメディアの活用と新しい。
数学 （学力検査）	易化傾向にあった大問 2 が再び難化。図形の折り返し問題がなくなり、最終問は 2 次関数の難問になった。	大問 2 以降は大幅に難化。去年と比べると取り組みやすい問題は減った印象。	難易度はかなり高く、次年度以降の出題には注意が必要。図形の証明は教科書レベルの問題が出題される。
数学 （学校選択）	共通問題の配点は 47 点分。解の公式や数の性質などで、論理的説明力を問う問題が出題された。	2014 年以前並みの難度に。学力検査問題と共通の問題のレベルが高い。	考え方や解き方を書かせる問題を意識的に出題。立体図形は典型型だったため、出題内容や難度は来年以降変わる可能性あり。
英語 （学力検査）	大問 2 は単語補充問題を新設。基礎力重視の内容に変わった。	解きやすい問題中心になり、全体的に易化。	英作文の配点が 8 点→10 点に。英問英答も、書き抜き + α で答えられるようになった。
英語 （学校選択）	英作文は「海外留学への賛否」という流行のテーマを出題。大問 3（光害）では比較的読みやすい英文を出題。	難問の単語補充がなくなったこともあり、全体的に易化。	2 つ目の英文は環境問題が頻出。全体的に難問はないため、満点近い得点が必要 & 英作文勝負になる可能性大。

☆これから受験する皆さんへのアドバイス☆

◎国語は「文章読解」や「漢字・語句問題」など日頃の勉強の成果が試されるので、コツコツ勉強していこう。

◎学力検査問題の数学は、「図形・関数問題」の難易度が全国的に見ても高いため、今後の出題内容に注意が必要。また、「図形の証明」は基本問題が出題されるため、対策は必須になります。

◎学校選択問題の数学は、「数の性質」の記述問題は私立入試も見据えた対策が必要です。また、問題ごとに難易度差が大きくなる可能性大なので、「できる問題はしっかり解く」という取りこぼしを防ぐことが最重要課題になります。

◎学力検査問題の英語は、単語や文法などの基礎的な力を問う問題が中心なので、単語の暗記や文法の理解を深めることが最優先。

また、英語が得意な生徒は、早い段階から長文読解を行い、英文読解に慣れておく必要があります。

◎学校選択問題の英語は、まず読解問題は標準レベルのため、高得点は必須です。日々の演習でも取りこぼさないことが重要です。また、英作文は最新 & 最頻出テーマである「意見作文」を徹底的に対策し、まとまった分量の英文を書けるようにすること。「環境問題」をテーマにした英文はこれからも出題される！

以上

（作成情報協力：(株)エデュケーショナルネットワーク）

次回 第3回は「2017 年の埼玉県公立入試 今年の入試総括（理科・社会）」。